

木もれ陽

文責 平川 千秋

「“願い”を叶えるために」



7月に入りました。学校再開からあっという間に1ヶ月が経ち、1学期もあと4週です。先週から部活動が再開され、今週末には定期テストが実施されます。一気に中学校らしい活気が出てきたように感じます。「中学生は忙しい!!」でも、この忙しい日々が必ず皆さんの成長に繋がると思います。疲れるけれど、不安もあるけれど、精一杯挑戦する、そんな7月を過ごしましょう。

さて、明日は七夕。玉造中生も勝田教諭のお知り合いの方からいただいた竹に、短冊を飾りました。それぞれどんな願いを書いたでしょうか。先月から3年生と面談をしています。「将来はどんな方向に進もうと考えていますか。」と尋ねていますが、まだ漠然としている人、心の中に温めているものがある人、それぞれです。短冊には“上達”と“夢”を書くといいと言われます。ただし、その願いは書いただけで叶うものではありません。自分の願いを叶えるためには、まず、こうありたいという自分の姿を思い描き、どうすれば近づけるかを考えて、真剣に努力してみることです。

夏の夜空に自分の願いが届くよう文字にしたためたこの夏。その夢の実現に向けて、“今できること”に精一杯挑戦してみてください。

教育実習終了



6月26日(金)を最後に今年度の教育実習が終了しました。例年とは違い、新型コロナウイルス感染防止対応の新しい生活様式の中で、制限が多い実習でしたが、実習生のお二人は、確実に“教育とは”“教師とは”“授業とは”、ということについて考え、何かをつかんで大学に戻られたようです。皆さんへのメッセージを預かりましたので、紹介します。

【冬木 亮】さんから

3週間本当にありがとうございました。不安と緊張の中始まった教育実習ではありませんでしたが、初日に玉造中学生と会った時の気持ちの良い笑顔や挨拶でその不安が吹っ飛びました。とても礼儀正しく、人のことを考えて行動できる子達だなと感心しました。これからもその素晴らしい姿勢を忘れずに学校生活や勉強、その他様々なことを全力で頑張り、当たり前のことが当たり前でできるを実践し続けてください。玉造中学生に幸あれ!

【加藤 麗奈】さんから

3週間ありがとうございました。初めは緊張と不安でいっぱいでしたが、楽しいお話をしてくれたり廊下で会った時に手をふってくれたりなど、皆の温かさに助けられました。本当にありがとうございました。

中学校の3年間は皆が思っているよりもあっという間に過ぎてしまうと思います。勉強が難しくなって、部活があって、最後には受験も待っています。そんな忙しい3年間だからこそ、1日1日を大切に過ごしてください。皆に幸あれ!